

4月27日(日) 第2日目	第1会場	第2会場
9:00	118 座長 宇佐見俊行 ネギ葉枯病に対する各種薬剤の防除効果 ○三澤知央 (道立道南農試)	218 座長 山本幹博 ウリ類炭疽病菌の分泌タンパク遺伝子 <i>NIS1</i> は、 <i>Nicotiana benthamiana</i> への壊死斑誘導能を示す ●吉野香絵・杉本芙美枝・奥野哲郎・高野義孝 (京大院農)
9:12	119 ミョウガ根茎腐敗病防除における土壌深部の効果的なくん蒸法について ○矢野和孝・竹内繁治 (高知農技セ)	219 シロイヌナズナの非宿主抵抗性におけるPEN2の要求性は、炭疽病菌の侵入様式に影響をうける 小野澤真理子・Volker Lipka *・島田智弓・奥野哲郎・Paul Schulze-Lefert **・○高野義孝 (京大院農・*The Sainsbury Laboratory・**Max Planck Institute)
9:24	120 三重県で分離されたMBI-D耐性イネいもち病菌のレース, <i>Pot2</i> rep-PCR法およびSSRマーカーによる解析 ○鈴木啓史・黒田克利・藤 晋一*・鈴木倫子*・鈴木文彦**・東 正昭 (三重科技農研・*秋田県大生資・**九州沖縄農研)	220 アズキ茎疫病菌の接種に際してアズキ胚軸に蓄積するアズキのファイトアレキシン ●原田玄輝・近藤則夫 (北大院農)
9:36	121 カンキツこうじかび病菌 (<i>Aspergillus</i> sp.) のペノミルおよびイミノクタジン酢酸塩に対する感受性 ○三好孝典・篠崎 毅 (愛媛果樹試)	221 トマト褐色根腐病菌 <i>Pyrenochaeta lycopersici</i> の培養ろ液中の毒性物質生産に培養温度が与える影響 ○増中 章・関口博之・百町満朗*・竹中重仁 (北海道農研・*岐阜大応生)
9:48	122 香川県におけるアスパラガス茎枯病の発消長と薬剤処理による防除効果 ○生咲 巖・西山芳邦・米澤晃子 (香川農試)	222 病原性の異なる <i>Botrytis cinerea</i> 株のトマト葉感染時における活性酸素種の動態について ●新田良太・間庭愛・中島雅己・阿久津克己 (茨城大農)
10:00	123 座長 田代暢哉 ナシ心腐れ症とナシ輪紋病に対するアビグリシン塩酸塩水溶剤の防除効果 ○新田浩通・森田剛成・木澤悟*・相馬聖人* (広島総研農技セ・*住友化学農化研)	223 座長 高野義孝 メロンつる割病菌とイチゴ黒斑病菌の病原性を制御する相同な転写制御因子の同定 ●倉田智彬・倉橋 真・播本佳明・張裕介・飯田祐一郎・柘植尚志 (名大院生農)
10:12	124 ナシ心腐れ症の防除効果にアビグリシン塩酸塩水溶剤の処理濃度と処理時期が及ぼす影響 ○森田剛成・新田浩通・木澤悟* (広島総研農技セ・*住友化学農化研)	224 メロンつる割病菌とイチゴ黒斑病菌の植物感染における糖新生酵素の役割 ●近田佳奈・神田裕之・小原敏明・倉田智彬・飯田祐一郎・播本佳明・柘植尚志 (名大院生農)
10:24	125 新規キャンディン系抗真菌薬 Michafungin (MCFG) はウリ類炭疽病菌の侵入菌糸の伸長を阻害し感染を抑制する ●城岩康太・辻 元人・久保康之 (京府大院生環)	225 リンゴ斑点落葉病菌のAM毒素生産性と病原性の制御機構 ○播本佳明・田中孝欣・児玉基一朗*・山本幹博**・尾谷 浩*・柘植尚志 (名大院生農・*鳥取大農・**岡山大農)

第3会場	第4会場	第5会場
317 座長 大貫正俊 Cucurbit chlorotic yellows virus(仮称)によるキュウリ退緑黄化病(仮称)のタバコナジラミによる伝搬と現地圃場における発生状況 ○古田明子・山口純一郎・衛藤友紀・久野公子*・溝辺真*・岡崎真一郎**・山崎修一**・行徳裕***・奥田充**** (佐賀農業セ・*宮崎総農試・**大分農林水産研安全・***熊本農研セ・****九州農研) 318 Cucurbit chlorotic yellows virus(仮称)の宿主範囲 山崎修一・○岡崎真一郎・古田明子*・久野公子**・行徳裕***・奥田充**** (大分農林水産研安全・*佐賀農業セ・**宮崎総農試・***熊本農研セ・****九州沖繩農研) 319 宮崎県におけるCucurbit chlorotic yellows virus(仮称)によるキュウリ退緑黄化病(仮称)の発生 ○久野公子・溝辺真・大田哲史*・古田明子**・岡崎真一郎***・行徳裕****・奥田充***** (川崎安夫(宮崎総農試・*児湯農改普セ・**佐賀農業セ・***大分農林水産研・****熊本農研セ・*****九州農研)) 320 熊本県におけるCucurbit chlorotic yellows virus(仮称)によるメロン退緑黄化病(仮称)の発生 ○行徳 裕・林田慎一・岡崎真一郎*・奥田 充** (熊本農研セ・*大分農林水産研・**九州農研) 321 座長 山下一夫 TAS-ELISA法によるキュウリおよびミナミキイロアザミウマからのメロン黄化えそウイルス(MYSV)の検出 ○石川浩一・楠元智子*・河野敏郎** (近中四農研・*愛媛農試・**日植防研) 322 イチゴマイルドイエローエッジウイルス(SMYEV)の大腸菌発現外被タンパク質に対する抗血清の作製とエライザ法による診断への利用 ○佐々木 純・竹内 徹・*古田和義 (道立中央農試・*北海三共) 323 ジャガイモYウイルスえそ系統(PVY-N)の大腸菌発現外被タンパク質に対するモノクローナル抗体の作製 ○堀田治邦・佐々木純・竹内 徹 (道立中央農試) 324 座長 奥田 充 マルチプレックスRT-PCRによるヤマノイモモザイクウイルスとヤマノイモモザイクウイルスの同時検出 ○鍛冶原寛・村本和之・伊藤真一*・田中秀平* (山口農林総セ・*山口大農)	419 座長 三瀬和之 PotyvirusのP1遺伝子の機能解析 ○王 蔚芹・奥田誠一・夏秋知英(宇都宮大農) 420 ズッキーニ黄斑モザイクウイルス沖縄株およびその弱毒株のHC-Pro領域の遺伝子解析と干渉効果の評価 ●久野修司・王 蔚芹・辻井みや子*・小堀 崇*・西川尚志**・奥田誠一・小坂能尚*・夏秋知英(宇都宮大農・*京都農資セ・**宇都宮大遺伝子) 421 ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株のHC-Proの機能解析 馬場一樹・久野修司・三好 洋*・王 蔚芹・小堀 崇**・西川尚志***・奥田誠一・小坂能尚**・○夏秋知英 (宇都宮大農・*聖マリアンナ医科大学・**京都農資セ・***宇都宮大遺伝子) 422 オオムギ縞萎縮ウイルスの系統とVPgの変異 ○西川尚志・萩原智美・湯本真理・五月女敏範*・加藤常夫**・夏秋知英 (宇都宮大遺伝子・*栃木農試栃木分場・**栃木県経営技術課) 423 オオムギ縞萎縮ウイルスの系統判別法の確立 ●湯本真理・萩原智美・西川尚志・五月女敏範*・加藤常夫**・夏秋知英 (宇都宮大遺伝子・*栃木農試栃木分場・**栃木県経営技術課) 424 座長 西口正通 Red clover necrotic mosaic virus RNAの複製は移行タンパク質の細胞内局在性に影響する 築野靖子・三瀬和之・奥野哲郎・○海道真典(京大院農) 425 Red clover necrotic mosaic virus RNA1に由来するノンコーディングRNAの生成メカニズムと機能解析 ○岩川弘宙・水本祐之*・海道真典・三瀬和之・奥野哲郎(京大院農・*宇都宮大) 426 Red clover necrotic mosaic virusの非構造タンパク質p27およびp88の相互作用はウイルス複製酵素複合体形成・RNA複製およびRNAサイレンシングの抑制に必要なである ●峯彰・海道真典・三瀬和之・奥野哲郎(京大院農)	518 座長 山田 隆 ファイトプラズマのプラスミド上にコードされる膜タンパク質ORF3の免疫組織化学的解析 ●星 朱香・石井佳子・柿澤茂行・大島研郎・難波成任(東大院農) 519 ファイトプラズマの昆虫伝搬能喪失株におけるプラスミド上のプロモーター配列欠失について ○石井佳子・星 朱香・柿澤茂行・大島研郎・難波成任(東大院農) 520 ファイトプラズマゲノムにおけるスクロースホスホリラーゼ遺伝子の機能欠損 ○大島研郎・星 朱香・石井佳子・柿澤茂行・難波成任(東大院農) 521 エンドウ先端黄白化症菌と各種植物病原細菌との混合接種による病徴発現について ●小林康予・瀧川雄一(静岡大農) 522 アブラナ科野菜黒腐病菌のファージ感染型の類別とその分布 ○井上康宏・松浦貴之・畔上耕児(中央農研) 523 座長 畔上耕児 薄層クロマトグラフィー法を用いた日本国内におけるジャガイモそうか病菌種の分布について ○菊池健太郎・館野司・久保花*・根岸寛光*・陶山一雄*・吉田穂積(東農大生産・*東農大農) 524 ジャガイモ塊茎生育とnec1遺伝子の量的推移の関係 ○吉田穂積・松田信貴・鈴木嘉朗・長田大輔(東農大生産) 525 東南アジアから採集したカンキツグリーニング病原細菌ゲノムの遺伝的多様性 ○富村健太・古屋典子・宮田伸一・久保田健嗣*・奥田 充*・Siti Subandiyah**・岩波 徹 (果樹研・*九州沖繩農研・**ガジャマダ大)

4月27日(日) 第2日目	第1会場	第2会場
10:36	126 植物病原菌類における菌体脂肪酸分析法の再検討 (2)直接的病害診断における菌体脂肪酸分析法の利用可能性に関する検討 ○松元 賢・ハ ヴィエト クオン*・福田信二・セイイン サン エ (九大熱研セ・*ハノイ農大)	226 イチゴ黒斑病菌のAF毒素生合成遺伝子 <i>AFTS4</i> の機能解析 ●間瀬千晶・新城明久・播本佳明・宮本蓉子*・秋光和也*・山本幹博**・柘植尚志 (名大院生農・*香川大農・**岡山大農)
10:48	127 リアルタイムPCR法による土壌中のイネ稲こうじ病菌定量法の検討 ○芦澤武人・高橋真実・森脇丈治・平八重一之 (中央農研)	227 ウリ類炭疽病菌のMAPKK キナーゼ変異株である <i>comekk1</i> 破壊株は感染器官分化および病原性欠損を示す ●坂口 歩・辻 元人・久保康之 (京都府大院生環)
11:00	128 座長 石井英夫 エレクトロポレーション法による稲こうじ病菌の形質転換系の開発 ○田中栄爾*・田中千尋**・古賀博則* (*石川県立大・**京大院農)	228 座長 児玉基一郎 ブラジルのダイズとクズから分離した <i>Phakopsora pachyrhizi</i> を交差接種した場合の病斑形成能力 ○加藤雅康・Jose Tadashi Yorinori*・Alvaro Manuel Rodrigues Almeida** (中央農研・*元Embrapa大豆研・**Embrapa大豆研)
11:12	129 水田土壌中に潜伏する各種 <i>Rhizoctonia</i> 属菌の特異的プライマーを用いた一覽化検出 ●加藤宗徳・尾関一浩・森島千晶・稲垣公治・荒川征夫 (名城大農)	229 ヒヨコマメの <i>Ascochyta blight</i> を引き起こす病原菌 <i>Ascochyta rabiei</i> の核型多型と有性世代を介した染色体の再構成 ○赤松 創・Chilvers, Martin I.・Kaiser, Walter J.*・Peever, Tobin L. (ワシントン州立大植物病理学・*米国農務省)
11:24	130 マルチプレックスPCRとリアルタイムPCRを用いたメロンホモブシス根腐病菌および黒点根腐病菌の検出と定量 津久井理恵・○穴戸雅宏 (千葉大園)	230 イチゴ炭疽病菌に対する特異的プライマーの作成 ○鈴木 健*・田中千華*・伊東靖之*・植松清次*・平山喜彦**・岡山健夫** (*千葉農総研・**奈良農総セ)
11:36	131 枝挿入法による白紋羽病の簡易診断 ○江口直樹・山岸菜穂 (長野南信試)	231 病原菌特異的プライマーを用いたPCRによる潜在感染株からのイチゴ炭疽病菌の検出 ○平山喜彦・鈴木 健*・伊東靖之*・岡山健夫・西崎仁博・松谷幸子 (奈良農総セ・*千葉農総研)
11:48	132 Identification and molecular characterization of <i>Fusarium</i> species isolated from Welsh onion showing wilt symptoms in Japan. ●Dissanayake, M.L.M.C., Kashima, R., Tanaka, S., and Ito, S. (Yamaguchi Univ.)	232 Physiological and Pathological studies of <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>phaseoli</i> infecting Bush bean Shaikh Sharmin Siddique ・○Md. Khurshed Alam Bhuiyan (Bangabandhu Sheikh Mujibur Rahman Agricultural University)
12:00		

第3会場	第4会場	第5会場
325 マルチプレックスRT-PCRによるユリモットルウイルス、ユリ潜在ウイルス及びキュウリモザイクウイルスの同時検出 ○村本和之・鍛冶原寛・伊藤真一*（山口農林総セ・*山口大農） 326 リアルタイムRT-PCRによる<i>Olpidium virulentus</i>からのミラフィオリタスビッグベインウイルス（MLBVV）の定量化 ○野見山孝司・大崎秀樹・石川浩一（近中四農研） 327 プロトプラストにおけるトウガラシマイルドモットルウイルス（PMMoV）間の干渉効果のリアルタイムPCRによる定量 ○久保田健嗣・神田絢美*・望月知史*・平井克之**・津田新哉*（九州沖縄農研・*中央農研・**京大院理）	427 レッドクローバーネクロティックモザイクウイルスRNA2の3' UTRに存在する二つの新規なステムループ構造はRNA2の複製に重要である ●安夢楠・岩川弘宙・海道真典・三瀬和之・奥野哲郎（京大院農） 428 カーネーションリングスポットウイルスのゲノムRNA 3' 末端配列のウイルス感染性における意義 ○永野秀昭・井本裕佳・海道真典・三瀬和之・奥野哲郎（京大院農） 429 座長 石川雅之 <i>Red clover necrotic mosaic virus</i> RNA1の3' 翻訳促進因子によるキャップ非依存的翻訳はリボソームスキヤニング機構を利用する ○サラワニヤラク シリラック・岩川弘宙・海道真典・三瀬和之・奥野哲郎（京大院農）	526 台風襲来後に発生したチャ葉の褐変症状から分離された<i>Herbaspirillum</i>属菌について ○富濱 毅・瀧川雄一*（鹿児島県農総セ茶・*静岡大学農学部） 527 カンキツグリーニング病罹病樹の分布とミカンキジラミ保毒虫の寄生状況 ○濱島朗子・橋元祥一・鳥越博明（鹿児島農開総セ果樹部） 528 カンキツグリーニング病（HLB）の野外罹病樹における新梢および硬化葉からのHLB検出率の季節的推移 ○澤岬哲也・佐渡山安常・村山祐子・河野伸二（沖縄農研セ）
328 座長 夏秋知英 RT-LAMP法によるトマト感染葉からのタバコモザイクウイルスとトマトモザイクウイルスの検出の試み ○渡辺貴弘・古河 衛・佐野義孝*（福井農試・*新大農） 329 RT-LAMPによるイチゴマイルドイエローエッジウイルス（SMYEV）及びイチゴベインバンディングウイルス（SVBV）の検出 ○古田和義・佐々木純*・竹内徹*（北海三共・*道立中央農試） 330 組換え二本鎖RNA（dsRNA）結合蛋白質を用いたウイルス複製中間体dsRNAの単離：網羅的RNAウイルス検出法および未同定RNAウイルス検出法としての可能性 ○小林括平・富田麗子（岩手生工研） 331 <i>Banana bunchy top virus</i> (BBTV) の代替宿主の探索 長嶋一郎・●小出理絵・T. O. Dizon*・夏秋啓子（東京農大国際、*Univ. Philippines, Los Banos）	430 <i>Melandrium yellow fleck virus</i> (MYFV) RNA3の5' 非翻訳領域の反復配列は <i>Nicotiana benthamiana</i> での全身感染に必須ではないがウイルスの感染競合に影響する ●楢林大樹・海道真典・奥野哲郎・三瀬和之（京大院農） 431 <i>Spring beauty latent virus</i> (SBLV) 感染シロイヌナズナに誘導される全身壊疽病徴発現への病害抵抗性経路の関与 ○岩橋福松・林 瑞恵・猿渡洋介・楢林大樹・海道真典・奥野哲郎・三瀬和之（京大院農） 432 アラビドプシスAG02およびAG05の機能解析 ○竹田篤史*, **・岩崎信太郎*, ***・渡部聡朗****, *****・渡辺 雄一郎*（*東大院総合文化・**オレゴン州立大植物&植物病理・***東大院分生研・****総研大院・*****遺伝研） 433 <i>Potexvirus</i> 属ウイルスによるRNAサイレンシング抑制能の比較解析 ●千秋博子・尾関丈二・橋本将典・小松健・青山倫子・山次康幸・難波成任（東大院農）	529 座長 井上康宏 グリーニング病がカンキツの初期生育における地上部の生長と光合成速度および台木根の生長と呼吸に及ぼす影響 緒方達志・小堀陽一・河邊邦正・米本仁巳・○大藤泰雄・Nguyen Thanh Binh*・Nguyen Minh Chau*（国際農研・*ベトナム南部果樹研究所） 530 ウンシュウミカン果実を介したカンキツかいよう病菌伝播の検証 ○塩谷 浩・上松 寛*・塚本貴教*・清水慶明*・上田幸司*・水野明文*（果樹研カンキツ・*横浜植防） 531 <i>Burkholderia glumae</i> による移植後イネ株の腐敗 ○長谷川優・畔上耕児*・篠原弘亮**（鳥取農試・*中央農研・**東農大農） 532 スイカ果実汚斑細菌病菌の罹病残渣における生残性および育苗期における有効な防除薬剤 ○小木曾秀紀・藤永真史（長野野花試）

4月27日(日) 第2日目	第1会場	第2会場
13:00	133 座長 植松清次 <i>Colletotrichum capsici</i> (Sydow) E. J. Butler & Bisbyによるポインセチア炭疽病 (新称) ○佐藤豊三・森 充隆*・森脇丈治**・富岡啓介 (生物研)・香川農試・**中央農研)	233 座長 豊田和弘 疫病菌に対するジャガイモの防御機構: 疫病菌サプレッサー (SUP) とCDPK1 (Ca ²⁺ 依存型キナーゼ) シグナル伝達のレーザー顕微解析 ○古市尚高*・**八木宏昌**・阿久津秀雄**・金城政孝*** (*フルブライト教育委員会・上級研究員: 新大院・**大阪大蛋白質研・***北大院先端生命)
13:12	134 <i>Corynespora cassiicola</i> によるマンデビラ褐斑病 (新称) ○三宅律幸・河村治代 *・景山幸二** (愛知農総試・*愛知東三河農水事渥美農改普・**岐大流域研セ)	234 ジャガイモ植物におけるセラミド関連化合物の抵抗反応誘導活性 ○関間貞雄・野澤武司・村上友哉*・竹本大吾・川北一人 (名大院生農・*現森永乳業)
13:24	135 <i>Corynespora cassiicola</i> によるニガウリ褐斑病 (新称) ○黒木尚・櫛間義幸*・大田哲史**・久綱泰代**・久野公子・川崎安夫 (宮崎総農試・*宮崎病害虫防除セ・**児湯農改セ)	235 恒常活性型CDPKを導入したジャガイモ植物は疫病菌に耐性を示すが夏疫病菌には感受性を示す ○吉岡美樹・小林光智衣*・浅井秀太・吉岡博文 (名大院生農・*生物研)
13:36	136 宿根アスターおよびルリタマアザミの茎腐小粒菌核病の病原としての <i>Sclerotinia minor</i> ○原田幸雄・伊藤 (川口) 陽子*・忠英一**・成田恵美子**・杉山悟**・庄司俊彦***・佐野輝男 (弘前大農生・*岩大院連農・**青森農林総研フラワーセ・***埼玉農林総研園)	236 PPS8/StWRKY4のリン酸化による機能制御 ○石濱伸明・吉岡博文 (名大院生農)
13:48	137 <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> によるパセリ菌核病 (新称) ○落合幾美・加藤晋朗・穴井尚子 (愛知農総試)	237 リボフラビン合成は植物免疫応答に関与する ●浅井秀太・間瀬圭介・吉岡博文 (名大院生農)
14:00	138 <i>Colletotrichum orbiculare</i> によるトウガン炭疽病 (新称) ○折原紀子・竹内 純*・鍵和田聡**・難波成任**・堀江博道**・植草秀敏 (神奈川農技セ・*東京農総研・**東大院農)	238 座長 秋光和也 <i>Medicago truncatula</i> アピラーゼ MtAPY1;1 の機能解析 ●塩原泰樹・藤田景子・稲垣善茂・一瀬勇規・豊田和弘・白石友紀 (岡大院自然科学)
14:12	139 座長 星 秀男 沖永良部島で発生したキク立枯症状の病原 (病原追加) ○築尾嘉章・伊藤陽子・松下陽介・住友克彦 (花き研)	239 <i>Medicago truncatula</i> におけるサプレッサー応答性遺伝子 川西由利子・松崎成剛・稲垣善茂・一瀬勇規・○豊田和弘・白石友紀 (岡大院自然科学)
14:24	140 <i>Pythium spinosum</i> および <i>P. sylvaticum</i> によるイチゴビシウム根腐病の発生 (病原菌追加) ○中山喜一・景山幸二*・渡辺秀樹**・福田充・石川成寿 (栃木農試・*岐大流域研セ・**岐阜農技セ)	240 サポニン生合成に関与するイネ <i>Oxidosqualene Cyclase</i> 遺伝子の分子解析 ○稲垣善茂・今岡敦子*・藤田景子・荒瀬 栄*・豊田和弘・白石友紀・一瀬勇規・Anne Osbourn** (岡山大院自然科学, *島根大生物資源, **John Innes Centre)

第3会場	第4会場	第5会場
332 座長 花田 薫 糸状菌に感染する<i>Totivirus</i>科ウイルスの分類について ●姫野未紗子・前島健作・小松 健・山次康幸・濱本 宏・難波成任（東大院農）	434 座長 増田 税 土壌伝染性ウイルスのシステインリッヂタンパク質は根のRNAサイレンシングを抑制する ○イダ バクス アンディカ・近藤秀樹・玉田哲男・鈴木信弘（岡山大資生研）	533 座長 稲田 稔 新規プラントアクティベーター探索のためのハイスループットスクリーニングシステムの開発 ○宇野久仁子*・鳴坂真理*,**・白石友紀**・鳴坂義弘*（*岡生研・**岡大農）
333 オオバコモザイクウイルス(PIAMV)の遺伝学的多様性 ○小松 健・尾関丈二・千秋博子・姫野未紗子・山次康幸・難波成任（東大院農）	435 クロロバ葉脈黄化ウイルスに対するエンドウ劣性抵抗性に関係するウイルス因子の特定 ●島田涼子・Marcelo Andrade・中原健二・上田一郎（北大院農）	534 新規殺菌剤イソチアニル（ルーチン®）に関する研究 - 第1報 イネいもち病等に対する作用特性 ○佐久間晴彦・新木康夫・田中桂子・金原太郎・今西欣也・執行拓宇・久池井豊・小川正臣*・石川亮*・沢田治子（バイエルクロップサイエンス㈱・*住友化学㈱）
334 アグロバクテリウムを介したレンゲ萎縮ウイルス（<i>Milk vetch dwarf virus</i>, MDV）DNAの植物感染系 ○佐野義孝・中舘佳子・田中瑞希・長谷川欣克・小島 誠（新潟大農）	436 シロクロバモザイクウイルスベクターによるRNAサイレンシングの誘導 井門由佳理・厚見剛・○中原健二・上田一郎（北大院農）	535 新規殺菌剤イソチアニル（ルーチン®）に関する研究 第2報 水田におけるイネいもち病に対する防除効果 ○小川正臣・佐久間晴彦*・沢田治子*・石川亮（住友化学㈱・*バイエルクロップサイエンス㈱）
335 座長 大島一里 新種のムギ類萎縮ウイルスの発生と既報のウイルス種との性状比較について ○白子幸男・前島秀和*（東大アジア生資研・*東北農研セ）	437 Spreading of RNA Silencing and Transgene Methylation: Analysis of Transgenic <i>Nicotiana benthamiana</i> with the Coat Protein Gene of Sweet potato feathery mottle virus. Haque, N.A.K.M., Yamaoka, N. and ○Nishiguchi, M. (Fac. Agr., Ehime Univ.)	536 新規殺菌剤アミスルブロムのキュウリべと病に対する効果 ○蓮沼奈香子・佐々木健寿・野口綾乃・若山健二・本田卓（日産化学）
336 新潟県内のダイズ圃場で多発した新ウイルス ○黒田智久・夏秋知英*・名畑越夫・佐藤秀明・石川浩司（新潟農総研作物研・*宇都宮大農）	438 RNA Silencing and Virus : Mutant Analysis of Rice RNA Dependent RNA Polymerase Gene (<i>OsRDR1</i>) ●Chen, H., Samadder, P.P*, Tanaka, Y.*, Miyao, A.*, Hirochika, H.*, Yamaoka, N. and Nishiguchi, M. (Uni. Grad. Sch. Agr. Ehime Univ., *Natl. Inst. Agrobiol. Sci.)	537 新規殺菌剤マンジプロパミド（SYJ-446SC, レーバス®フロアブル）に関する研究（1）；一般的性状、安全性およびジャガイモ疫病菌に対する基礎活性 ○林敬介・平田哲也・Huggenberger Fritz*（シンジェンタ ジャパン・*Syngenta Crop Protection）
337 ダイズ微斑モザイクウイルスはソテツえそ萎縮ウイルスの系統である ○花田 薫・井上 興*・高橋幸吉**・岩波 徹***（中央農研・*山口農林総セ・**日植防協会・***果樹研）	439 座長 海道真典 インド型イネ品種「Modan」由来イネ縞葉枯病抵抗性遺伝子領域に見られる遺伝子の発現 ○早野由里子・斎藤浩二・高橋真実*・石川浩一**（北農研・*中央農研・**近中四農研）	538 新規殺菌剤マンジプロパミド（SYJ-446SC, レーバス®フロアブル）に関する研究（2）；各種作物の疫病およびべと病に対する防除特性 ○平田哲也・林敬介・萩原彰子・榎吉寿夫・宇賀神勉・Huggenberger Fritz*（シンジェンタ ジャパン・*Syngenta Crop Protection）
338 Isolates of the PVY^{SYR} Type form a Heterogeneous Recombinant Subpopulation of <i>Potato virus Y</i> in Syria ●Chikh Ali, M.*, **, Maoka, T.*** and Natsuaki, K.T.*（*Tokyo Univ. Agric., **GOSM Syria, ***NARCH）	440 イネ萎縮ウイルスPns12をコードする遺伝子の発現抑制形質転換イネはウイルス抵抗性を示す ○清水 巧・吉井基泰*・廣近洋彦*・大村敏博（中央農研/PROBRAIN・*生物研）	539 メトコナゾールに対する麦類赤かび病菌の感受性分布および本剤の子のう胞子、大分生子に対する発芽阻害活性 ○堅石秀明・木村理恵・永塚隆由・佐久間米子・森 勝（㈱クレハ）
339 The Characterization of <i>Cucumber mosaic virus</i> and its Satellite RNA from Potato in Syria Chikh Ali, M. *, **, Maoka, T.*** and ○Natsuaki, K.T.*（*Tokyo Univ. Agric., **GOSM Syria, ***NARCH）	441 リンゴクロロティックリーフスポットウイルスの細胞間移行タンパク質(P50)はサイレンシングシグナルの長距離移行を阻害する ○八重樫元*・田村顕裕**・磯貝雅道*,**・吉川信幸*, **（*岩手連大・**岩手大農）	540 座長 仲川晃生 ビワ果実腐敗の原因となる各種菌類に有効な薬剤の選定 ○菅 康弘・森 浩紀*（長崎果樹試・*長崎農業大学校）

4月27日(日) 第2日目	第1会場	第2会場
14:36	141 ナデシコ「テルスター」およびペチュニアに発生した立枯病（新称） ○岡田清嗣・瓜生恵理子*・景山幸二**・草刈眞一（大阪環農総研・*大阪中部農の普及課・**岐阜大流域研セ）	241 ベンサミアーナタバコにおけるウリ類炭疽病菌 <i>cosdd1</i> 破壊株の感染抑制にはSIPK/WIPKの活性化が関与する ●田中茂幸・石濱伸明*・吉岡博文*・辻 元人・津下誠治・久保康之（京府大院生環・*名大院生農）
14:48	142 <i>Pythium myriotylum</i> によるクルクマ立枯病（新称） ○鈴木幹彦・景山幸二*・外側正之・内山徹（静岡農林研・*岐阜大流域研セ）	242 アブラナ科野菜類炭疽病菌の <i>chssd1</i> 破壊株は物理的侵入力を有するがシロイヌナズナCol-0への病原性は低下する 寺田 寛・森 あい・田中茂幸・○辻元人・久保康之（京都府大院生環）
15:00	143 <i>Pythium aphanidermatum</i> によるポインセチア根腐病の発生（病原菌追加） ○渡辺秀樹・堀之内内人・加藤高伸*・桑原圭司*・高井啓**・景山幸二***（岐阜農技セ・*岐阜農技課・**岐阜地域農改セ・***岐阜大流域研セ）	243 座長 中屋敷均 アブラナ科野菜類炭疽病菌におけるアグロバクテリウム法による一重交差の相同組換えを利用した効率的な標的遺伝子破壊実験系の構築 ●牛丸拓磨・寺田 寛・坪井基枝・辻元人・久保康之（京都府大院生環）
15:12	144 水田土壌から分離された <i>Pythium</i> spp.の同定並びにイネ苗に対する病原性 幸坂知春・藤 晋一・戸田 武・景山幸二*・○古屋廣光（秋田県大生資・*岐阜大流域研セ）	244 The rice blast fungus behavior in planta in the compatible and the incompatible interactions. ●Madadi, Abdul Khalid・Arie T.・Teraoka T (Tokyo Univ. Agric. & Tech. (TUAT), Graduate School)
15:24	145 座長 野々村照雄 <i>Golovinomyces cichoracearum</i> var. <i>cichoracearum</i> によるオオバナノコギリソウうどんこ病の新発生 ○星 秀男・鍵和田 聡*・佐藤幸生**・難波成任*・堀江博道*（東京農総研・*東大院農・**富山県立大）	245 耐病性機構の負の制御因子OsPti1aを介したシグナル伝達機構の解析 ○松井英謙・加星(岸)光子・山崎宗郎・宮尾安藝雄・高橋章・廣近洋彦（生物研）
15:36	146 東京都で発生したユリノキうどんこ病（新称） ○荒木郁充・白谷嘉朗（三重大院生資）	246 イネいもち病菌のキチン吸着ドメインをコードする遺伝子の機能解析 ○齋藤憲一郎・南栄一・西澤洋子（生物研）
15:48	147 オオムギうどんこ病菌(<i>Blumeria graminis</i>) の Life Cycle における宿主表面クチクラの役割 西村優博・西口正通・松本 勲・○山岡直人（愛媛大・農）	247 キチンオリゴ糖を介したイネ植物といもち病菌の相互作用の解析 ○岸本久太郎・中島恵美・倉野洋子・賀来華江*・渋谷直人*・南栄一・西澤洋子（生物研・*明治大農）
16:00	148 ツルナ黒枯病（新称）およびトマトさび斑病（新称）の発生 ○竹内 純・鍵和田 聡*・難波成任*・堀江博道*（東京農総研・*東大院農）	248 座長 鳴坂義弘 イネのキチンエリシター応答性ユビキチンリガーゼEL5の機能解析 ○西澤洋子・岸本久太郎・小岩井花恵・中島恵美・倉野洋子・加藤悦子・南栄一（生物研）

第3会場	第4会場	第5会場
340 座長 長岡栄子 ブドウから見いだされた新ウイルス Grapevine virus E (仮称) について ○中畝良二・中野正明 (農研機構果樹研)	442 リング小球形潜在ウイルスベクターを利用したシロイヌナズナのウイルス抵抗性遺伝子(RCY1)のウイルス誘導ジーンサイレンシング(VIGS) 須貝友和*・●田村顕裕*・磯貝雅道*・高橋英樹**・吉川信幸* (*岩手大農・**東北大院農)	541 イチゴ炭疽病感染株に対する定植前の薬剤処理による発病抑止効果 ○岡山健夫・平山喜彦・松谷幸子・西崎仁博 (奈良農総セ)
341 ミャンマーにおけるパパイヤ輪点ウイルス (PRSV) の発生とその特性 ●小松原 崇・Khin Soe*・夏秋啓子 (東京農大国際, *Ministry of Agriculture and Irrigation, Myanmar)	443 座長 山次康幸 N因子タバコにおける過敏反応と発熱 ○高橋 翼*・磯貝雅道**・吉川信幸*,** (*岩手大COE・**岩手大農)	542 銀担持アルミノ珪酸塩の浸種後処理によるイネ種子伝染性病害に対する種子消毒効果 ○松尾広信・橋本晃・宍戸弘美 (北興化学工業)
342 温州萎縮ウイルス系統のマルチプレックスRT-PCRによる迅速識別 ○清水伸一*・伊藤隆男**・三好孝典・橘 泰宣***・岩波徹*** (愛媛果樹試・*現 愛媛県庁・**果樹研ブドウ・カキ・***愛媛防除所・****果樹研)	444 タバコにおけるキュウリモザイクウイルスの長距離移行の阻害とRNAサイレンシングの関与 ●岩附由絵・大木 理 (大阪府大院生環)	543 マンゼブ水和剤に殺虫剤・殺ダニ剤を混用した場合の温州ミカン褐色腐敗病に対する防除効果の変動 ○田代暢哉・山崎礼一*・井手洋一** (佐賀上場営農セ・*大分農林水産研果樹・**佐賀果樹試)
343 座長 上田重文 <i>Chrysanthemum stem necrosis virus</i> (CSNV) によるトマト黄化えそ病 (病原追加) ○桑原克也・酒井宏* (群馬農技セ・*群馬県庁)	445 The Suppressor Protein of <i>Cucumber mosaic virus</i> Is Necessary for Severe Systemic Infection in Tobacco. ●Sunpapao, A., Dong, F. and Ohki, S.T. (Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture Univ.)	544 神奈川県におけるキュウリうどんこ病菌ステロール脱メチル化酵素阻害剤 (DMI剤) 耐性菌の発生実態 ○久保深雪・野村研・植草秀敏・武田敏幸*・北宜裕 (神奈川農技セ・*JA全農営技セ)
344 ミャンマーのユウガオ (<i>Lagenaria siceraria</i>) で初発生が認められたスイカ緑斑モザイクウイルス (CGMMV) の特性 ●キム オッキョン・水谷任佑・夏秋啓子・李 起連*・Khin Soe** (東京農大国際・*韓国慶北大・**Ministry of Agriculture and Irrigation, Myanmar)	446 <i>Paprika mild mottle virus</i> 日本株の183-kDaタンパク質のThr241SerはHk抵抗性打破に関わる ●松元克俊・上西康介*・澤田博正**・木場章範・鈴木一実*・曳地康史 (高知大農・*滋賀県大環境・**高知県農技)	545 DMI剤耐性度の異なるキュウリうどんこ病菌に対する防除効果の評価と耐制度別検出 ○植草秀敏・折原紀子・野村研・久保深雪・北宜裕・武田敏幸* (神奈川農技セ・*JA全農営技セ)
345 ニガウリおよびスイカにおけるメロン黄化えそウイルス (MYSV) の自然発生 ○竹内繁治・下元祥史・石川浩一* (高知農技セ・*近中四農研)	447 座長 光原一朗 タバコモザイクウイルス感染時のタバコ <i>NtERF3</i> 遺伝子の発現解析と一過的過剰発現による過敏細胞死の誘導 ●小賀田拓也・村井正人・佐々木信光・丹生谷博・松下保彦 (農工大遺伝子)	546 カンキツ緑かび病に対する炭酸水素ナトリウムの防除効果 ○間佐古将則 (和歌山果試)
346 座長 鍛冶原寛 ヤマノイモえそモザイクウイルス弱毒系統の現地圃場における干渉効果 ○近藤 亨・古川耕一郎*・伊藤和彦* (青森農林総研グリーンバイオ・*青森上北地域県民局三沢普及)	448 KELPの一過的過剰発現によるトマトモザイクウイルス移行タンパク質の細胞内局在の変化 ○佐々木信光・小賀田拓也・松下保彦・丹生谷博 (農工大遺伝子)	547 座長 植草秀敏 佐賀県におけるストロビリン系剤耐性イチゴ炭疽病菌 (<i>Glomerella cingulata</i>) の発生推移 ○稲田 稔・山口純一郎・古田明子 (佐賀農業セ)
347 分離宿主の異なるインゲンマメ黄斑モザイクウイルス (BYMV) に対する弱毒株M11の干渉効果 ○長岡 (中菌) 栄子・小坂能尚*・夏秋知英**・大村敏博・笹谷孝英 (中央農研・*京都農資セ・**宇都宮大農)	449 トマトモザイクウイルス (ToMV) 罹病性トマトがもつ <i>Tm-1</i> 対立遺伝子 <i>tm-1</i> はタバコマイルドグリーンモザイクウイルス (TMGMV) およびトウガラシマイルドモットルウイルス (PMMoV) の増殖を抑制する ○石橋和大*,**・内藤 哲**・飯 哲夫*・石川雅之* (*生物研・**北大院農, 北大院先端生命)	548 茨城県内キュウリ産地におけるボスカリド耐性キュウリ褐斑病菌の分布 ○宮本拓也・小堀智史・小河原孝司・石井英夫*・富田恭範・瀬古隆司** (茨城農総セ園研・*農環研・** BASF アグロ)

4月27日(日) 第2日目	第1会場	第2会場
16:12	149 本邦未記載の <i>Puccinia psidii</i> による オヒアさび病 (新称) ●川西剛史・植松清次*・柿嶋 真 **・鍵和田聡・濱本 宏・難波成任・ 堀江博道 (東大院農・*千葉農総研暖 地・**筑波大生命環境)	249 イネPR1ファミリー遺伝子群の病傷害 及び防御関連シグナル物質誘導的な発 現について ○光原一朗・岩井孝尚*・瀬尾茂美・柳川由紀**・川東 広 幸・廣瀬咲子・大川安信・大橋祐子 (生物研/PROBRAIN, * 宮城県農園研, **奈良先端大)
16:24	150 座長 佐藤豊三 カーネーションとヒマワリに発生した <i>Phytophthora cryptogea</i> による疫病 (新称) ○植松清次・田中千華・大谷徹・景山 幸二* (千葉農総研暖地・*岐阜大流域 圏セ)	250 イネいもち病菌における予想GPIアン カー型タンパク質をコードする <i>MGAL1</i> の付着器形成における役割 七里和俊・○中嶋佑一・鎌倉高志 (東 理大理工)
16:36	151 <i>Fusicoccum aesculi</i> Cordaによるイチ ジク黒葉枯病 (新称) ○井上幸次・神谷奈多紗・谷名光治 (岡山農試)	251 いもち病菌の胞子発芽における天然栄 養源の影響 ●井上加奈子・池田健一・朴杓允 (神 戸大院農学研究科)
16:48	152 <i>Fusarium solani</i> によるイチゴ乾腐病 (新称) の発生 ○舟久保太一・山口優子・市川和規* (山梨総農技セ・*山梨果試)	
17:00	153 茨城県におけるレタス根腐病の発生 ○小河原孝司・富田恭範・山内智史 *・菅谷龍雄**・米山一海*** (茨城農 総セ園研・*野菜茶研・**茨城農総セ 坂東農改・***茨城病害虫防除所)	
17:12	154 クリスマスローズに発生したべと病お よび炭疽病 (新称) ○菅原敬・松館綾子*・伊藤陽子**・ 生井恒雄* (山形庄内産地研・*山形大 農・**花き研)	
17:24		

第3会場	第4会場	第5会場
348 遺伝子型が異なるトウガラシマイルドモットルウイルス弱毒株が示す干渉効果の差異 ○神田絢美・津田新哉（中央農研）	450 <i>Capsicum</i>属植物トバモウイルス抵抗性遺伝子L^3の精密マッピング ○富田麗子・村井 淳*・坂本 勝・鈴木一実**・小林括平（岩手生工研・*現、大阪府成人病セ研・**滋賀県大環境）	549 DMI剤耐性ナシ黒星病菌の佐賀県及び福岡県からの検出と耐性菌の性状 ○石井英夫・西村久美子・井手洋一*・菊原賢次**・加藤 寛・埋橋志穂美（農環研・*佐賀果樹試・**福岡農総試）
349 <i>Ralstonia pickettii</i> C-176が生産する菌体外多糖類はトウガラシマイルドモットルウイルスの感染を阻害する ○浜田博幸・藤澤一郎*・池頭靖夫**・津田新哉（中央農研・*鯉渕学園・**片倉チッカリン）	451 座長 鈴木 匡 人工DNA結合タンパク質を用いたトマト黄化葉巻ウイルスの複製阻害 ○木村泰裕・竹中公亮・堂本郁也・青山安宏・世良貴史（京大院工）	550 PCR-Luminex法によるイネいもち病菌のストロビルリン系薬剤耐性菌とMBI-D剤耐性菌の同時検出に向けて ○加藤寛・Wei Chuan-Zhao・石井英夫（農環研）
350 座長 津田新哉 トルコギキョウのウイルス病総合防除の試み ○藤永真史・宮本賢二・宮坂昌実・小本曾秀紀・井上登志郎*・石塚美帆*・夏秋知英*（長野野花試・*宇都宮大農）	452 インゲンマメ黄化病抵抗性遺伝子<i>Sdvy-I</i>を検出する分子マーカー ○竹内 徹・佐々木 純・江部成彦*（道立中央農試・*道立北見農試）	551 新しく展開したジャガイモ葉上でのシアゾファミドの挙動 ○三谷滋・寛座俊孝・Testers, J*・Schepers, HTAM **（石原産業・*ベルチムクロッププロテクション・**ワーゲニンゲン大）
351 ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株のキュウリ苗への高圧噴射における子葉裏面接種による感染率向上 ○塩見 寛・塩尻 昇*・王 蔚芹**・有本龍平・安原壽雄***・夏秋知英**・小坂能尚***（タキイ種苗・*テイエス植物研究所・**宇都宮大農・***微生物化学研究所・****京都農資セ）	453 ミラフィオリレタスウイルスの外被タンパク質遺伝子を導入したレタスの抵抗性解析 ○川頭洋一・野口裕司（野菜茶研）	552 中晩生カンキツ品種‘不知火’に発生する汚れ果症の防除で使用する殺菌剤の効率的な利用法 ○井手洋一・田代暢哉*・ロ木文孝（佐賀果樹試・*現 佐賀上場営農セ）
352 キュウリ圃場におけるズッキーニ黄斑モザイクウイルス（ZYMV）弱毒株2002製剤の防除効果を評価する遺伝子診断法の確立 ○梁 宝成・小坂能尚*・竹村玲子**・佐藤英典***・久野修司****・王 蔚芹****・安原壽雄・夏秋知英****（微生物化学研究所・*京都農資セ・**京大ウイルス研・***宮城農園研・****宇都宮大農）	454 海産赤潮プランクトンの系群レベルでの組成変化に対するウイルス側の挙動応答について ○長崎慶三・高尾祥丈・水本祐之*・外丸裕司（水産総合研究センター、*宇都宮大）	553 イネ種子消毒によるいもち病育苗期感染苗の本田持ち込み抑制 ○山口純一郎・稲田 稔・古田明子・鈴木文彦*・荒井治喜*・武田敏幸**（佐賀農業セ・*九州沖縄農研・**JA全農営技セ）
353 トマト黄化葉巻病抵抗性品種の発病抑制に対する接ぎ木の影響 ○江口武志・行徳裕・小牧孝一（熊本農研セ）		